



会場には国見自慢の多彩な“食”が並びました

国見の“食” 魅力を発信

国見町の自然と生産者の情熱によって育まれる豊富な食材と、愛情を込めて腕を振るう人々によって生み出される国見の多彩な“食”。そんな国見町が誇る“食”の魅力を再認識し、次代へと伝え、発信する場として、「国見町食の文化祭」が開かれました。

食 の文化祭

国見の“食”が勢ぞろい
「食の文化祭」

観月台文化センターで12月19日に開かれた「食の文化祭」には、町内外から200人以上が来場し、国見の“食”の魅力を堪能しました。

会場には、各地区のお母さんや道の駅国見あつかしの郷の料理人らが腕をふるった「国見町食卓図鑑」でお馴染みの地域や家庭の味、商店街の自慢の味など50品以上の料理が並び、来場者は国見の豊かな“食”を味わいました。

また、今年収穫された新米の『天のつぶ』で作られた町オリジナル日本酒「国

見あつかしさん」の新酒のお披露目もあり、関係者による鏡開きが行われ、新酒の完成を祝いました。

国見が誇る「食文化」を
次代へ

国見町が誇る豊かな大地と生産者のたゆまぬ努力によって育まれる米や野菜、果物。そして、その豊富な食材を使ってお母さんたちが愛情を込めて作る多彩な家庭料理。毎日当たり前のように食卓に並ぶ家庭料理こそが、国見町に代々受け継がれてきた「食文化」であり、次代へと守り伝えていくべき町の「たからもの」なのです。



東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を誓った出席者

「オール国見」で東京五輪・パラを応援 2020 東京オリンピック・パラリンピック機運醸成等 国見町応援団発足

「オール国見」で2020東京オリンピック・パラリンピックの機運を盛り上げる「国見町応援団」が11月30日に設立されました。

応援団は、町や議会、スポーツ・健康推進団体、文化関係団体、小中学校・PTA、農商工・観光関係団体など町内のあらゆる団体で構成。町一丸で大会を盛り上げることで、スポーツ参画の推進や文化芸術の振興、国際交流・地域活性化につながることも、次代を担う子どもたちの夢と希望を育みます。

観月台文化センターで行われた設立式では、太田久雄町長が「オリンピックが人生に与える影響は多大。子どもたちに良い思い出を残し、未来へつなげましょう」とあいさつ。会長に太田町長、副会長に東海林一樹町議会議長と佐藤金宏町内会長連絡協議会長が選任されました。応援団では、「スポーツ・健康」「文化・教育」「地域連携・国際交流」をテーマに、オリンピック・

パラリンピックに積極的に関わっていくことを決定しました。佐藤副会長が決議文案を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

大人から子どもまで、障がいのある人もない人も、互いに認め合い、尊重し、支え合う町を目指します

①スポーツ・健康
生涯にわたり、誰もがスポーツを「する」「観る」「支える」社会を実現し、スポーツ参画や、主体的な健康づくりを推進します。

②文化・教育
魅力ある町の文化芸術・伝統の継承に取り組みとともに、社会の多様性を尊重する態度や共生社会の実現に必要な思いやりを養う教育を推進します。

③地域連携・国際交流
国見町を訪れるすべての人をおもてなしの精神で歓迎し、国際交流を推進するとともに、町の魅力や元気を国内外に発信します。



1,2 国見の豊かな“食”を楽しむ来場者 3 各料理にはたくさんの知恵と愛情が込められています 4 腕を振るった各地区のお母さんたち 5 鏡開きで新酒のお披露目を祝う太田町長ら